

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月12日
【四半期会計期間】	第61期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	ジオマテック株式会社
【英訳名】	GEOMATEC CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松崎 建太郎
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
【電話番号】	(045)222-5720
【事務連絡者氏名】	執行役員経理財務部長 河野 淳
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
【電話番号】	(045)222-5720
【事務連絡者氏名】	執行役員経理財務部長 河野 淳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第3四半期連結 累計期間	第61期 第3四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	7,376,978	7,730,443	9,821,319
経常利益(千円)	675,428	808,566	886,577
四半期(当期)純利益(千円)	648,098	777,962	845,845
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	618,620	1,104,356	1,118,185
純資産額(千円)	16,915,606	17,775,170	17,415,170
総資産額(千円)	24,708,845	26,828,265	26,384,061
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	77.31	96.97	100.90
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	68.5	66.3	66.0

回次	第60期 第3四半期連結 会計期間	第61期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	52.19	23.34

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策、日銀による金融緩和政策への期待から円安、株高傾向が継続し、景気回復の兆しが見られるものの、新興国経済の成長鈍化が散見されるなど、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループの主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ（FPD）市場は、スマートフォン、タブレット端末が市場を牽引する状況で推移しておりましたが、11月以降調整局面に入ったことから、当第3四半期連結会計期間（平成25年10月～12月）は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は、77億30百万円（前年同期比4.8%増）となりました。損益につきましては、中国子会社の収益が改善したことなどから、営業利益は7億77百万円（前年同期比22.3%増）、経常利益は8億8百万円（前年同期比19.7%増）、四半期純利益は7億77百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。なお、当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、品目別に記載しております。

#### （FPD用基板）

FPD用基板につきましては、スマートフォン、タブレット端末向け液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜は、スマートフォン、タブレット端末向け部品市場が調整局面に入った影響を受け伸び悩みました。カーナビゲーション向けタッチパネル用透明導電膜は、自動車生産が安定していることから概ね堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は57億7百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

#### （光学機器用部品）

光学機器用部品につきましては、プロジェクター向け光学部品は大手プロジェクターメーカーが事業を縮小したことや、デジタルカメラ向け反射防止膜の販売が縮小したことから低調な推移となりました。

この結果、売上高は7億49百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

#### （その他）

その他につきましては、スマートフォン向け加飾膜やマスクブランクス向け薄膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は12億73百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態を前連結会計年度末と比較すると、総資産が4億44百万円、純資産が3億59百万円それぞれ増加し、自己資本比率は66.3%となりました。

増減の主なものは、流動資産では、現金及び預金が9億3百万円減少、受取手形及び売掛金が6億40百万円増加、固定資産では機械装置及び運搬具が4億12百万円増加しました。流動負債では、支払手形及び買掛金が7億82百万円増加、固定負債では長期借入金が5億54百万円減少しました。純資産では、利益剰余金が5億33百万円増加、自己株式が取得により4億99百万円増加（純資産は減少）、為替換算調整勘定が2億42百万円増加しました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は3億58百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## (5) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間に新たに確定した重要な設備の新設計画は、次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定		完成後の増加 能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
当社 金成第 二工場	宮城県栗原市	製造設備	600,000	422,906	借入金	平成25年9月	平成26年3月	生産能力9% 増加

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,152,400	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,152,400	同左	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1 日~ 平成25年12月31日	-	9,152,400	-	4,043,850	-	8,297,350

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,242,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,908,800	79,088	-
単元未満株式	普通株式 1,600	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,152,400	-	-
総株主の議決権	-	79,088	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ジオマテック株式会社	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	1,242,000	-	1,242,000	13.57
計	-	1,242,000	-	1,242,000	13.57

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,182,997	6,279,313
受取手形及び売掛金	<sup>1, 2</sup> 7,608,297	<sup>1, 2</sup> 8,249,062
有価証券	1,752,788	1,752,934
商品及び製品	<sup>2</sup> 146,766	147,590
仕掛品	157,989	<sup>2</sup> 260,838
原材料及び貯蔵品	<sup>2</sup> 900,452	<sup>2</sup> 897,949
その他	105,046	178,360
貸倒引当金	2,275	2,049
流動資産合計	17,852,062	17,764,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,612,836	1,639,981
機械装置及び運搬具(純額)	<sup>3</sup> 2,327,309	<sup>3</sup> 2,740,288
土地	2,340,673	2,340,673
その他(純額)	601,522	603,100
有形固定資産合計	6,882,342	7,324,043
無形固定資産		
投資その他の資産	56,631	74,154
投資有価証券	828,598	928,426
その他	764,574	737,648
貸倒引当金	147	8
投資その他の資産合計	1,593,024	1,666,066
固定資産合計	8,531,998	9,064,265
資産合計	26,384,061	26,828,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	<sup>2</sup> 4,677,326	<sup>2</sup> 5,460,072
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	939,255	774,798
未払法人税等	57,311	21,173
賞与引当金	194,027	91,533
役員賞与引当金	12,000	-
その他	674,896	839,186
流動負債合計	6,604,816	7,236,763
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,818,202	1,263,478
退職給付引当金	271,497	300,957
役員退職慰労引当金	252,095	211,660
その他	22,279	40,236
固定負債合計	2,364,073	1,816,331
負債合計	8,968,890	9,053,095
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,043,850	4,043,850
資本剰余金	8,297,350	8,297,350
利益剰余金	5,857,123	6,390,691
自己株式	811,124	1,311,086
株主資本合計	17,387,199	17,420,804
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	86,808	170,768
為替換算調整勘定	58,837	183,597
その他の包括利益累計額合計	27,971	354,365
純資産合計	17,415,170	17,775,170
負債純資産合計	26,384,061	26,828,265

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,376,978	7,730,443
売上原価	5,448,372	5,552,085
売上総利益	1,928,606	2,178,358
販売費及び一般管理費	1,292,861	1,400,550
営業利益	635,745	777,808
営業外収益		
受取利息	22,678	17,641
受取配当金	8,117	8,974
不動産賃貸料	12,530	11,593
為替差益	5,129	-
その他	25,581	28,502
営業外収益合計	74,037	66,711
営業外費用		
支払利息	19,610	14,815
為替差損	-	11,501
不動産賃貸費用	6,297	2,277
その他	8,446	7,358
営業外費用合計	34,353	35,953
経常利益	675,428	808,566
特別利益		
固定資産売却益	475	49
特別利益合計	475	49
特別損失		
投資有価証券評価損	3,188	-
特別損失合計	3,188	-
税金等調整前四半期純利益	672,715	808,616
法人税、住民税及び事業税	23,441	30,592
法人税等調整額	1,175	61
法人税等合計	24,617	30,653
少数株主損益調整前四半期純利益	648,098	777,962
四半期純利益	648,098	777,962

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	648,098	777,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,652	83,959
為替換算調整勘定	1,825	242,434
その他の包括利益合計	29,477	326,393
四半期包括利益	618,620	1,104,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	618,620	1,104,356
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日の満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第3四半期連結会計期間末日は金融機関の休日であったため、次の満期手形が当四半期連結会計期間末日の残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	6,375千円	1,368千円

- 2 取引先からの有償支給材料に係る代金相当額が次の科目に含まれております。なお、有償支給材料代金は、「売上高」及び「売上原価」から控除して表示しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
売掛金	3,825,834千円	4,382,128千円
製品	7,729	-
仕掛品	-	114,183
原材料	112,780	37,850
買掛金	3,952,370	4,541,764

- 3 国庫補助金等により取得した資産について取得価額から控除している圧縮記帳額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
機械装置	130,000千円	130,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	701,344千円	680,903千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	125,740	15	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月8日 取締役会	普通株式	125,740	15	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	125,740	15	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	118,655	15	平成25年9月30日	平成25年12月6日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することについて決議し、自己株式を472,300株取得いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が499,961千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	77円31銭	96円97銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	648,098	777,962
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	648,098	777,962
普通株式の期中平均株式数(株)	8,382,668	8,021,917

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額.....118,655千円
  - (2) 1株当たりの金額.....15円
  - (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月6日
- (注)平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

ジオマテック株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	北方 宏樹	印
--------------------	-------	-------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山本 千鶴子	印
--------------------	-------	--------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているジオマテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ジオマテック株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。